

令和4年度 第3学年
ふるさと共生コース

学習のてびき

奈良県立十津川高等学校

組	番	氏名
---	---	----

令和4年度 第3学年(ふるさと共生)開講科目

- ① … 現代文B
- ② … 古典B
- ③ … 地理A
- ④ … 政治・経済
- ⑤ … 体育
- ⑥ … コミュニケーション英語Ⅲ
- ⑦ … 総合国語演習
- ⑧ … 数学B
- ⑨ … 数学Ⅱ
- ⑩ … 英語表現Ⅱ
- ⑪ … コミュニケーション英語発展
- ⑫ … 日本史総合演習
- ⑬ … 化学
- ⑭ … 数学活用
- ⑮ … 課題研究
- ⑯ … 簿記
- ⑰ … 情報処理
- ⑱ … ボランティア

【国語科】 現代文B	教科書	新 精選 現代文B (明治書院)			
	副教材	使用しません (随時プリント配付)			
履修学年	第3学年	履修形態	必修・選択	履修単位	3単位

学習 (到達) 目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇様々な文章に触れて読解力を磨くとともに、読書に親しむ態度、他者を尊重する態度を身に付ける。
- ◇自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業では評論文、随想、小説など多様な種類の「文章」を読んでいます。それを活かし、普段の生活の中から新聞や本、インターネットなどを利用して「文章」に触れる機会を自ら作りましょう。
- ◇さまざまな文章を読む中で、自分の意見を持ち、積極的に発言してください。また他人の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比較し理解を深めてください。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	小説 (1) 評論 (1)	『檸檬』 『異文化理解』	・独特の物事の把握の仕方をとらえ、作者の意図に注目した「読み」を実践する。 ・論理の展開を理解し、筆者の主張をとらえる。	取り組む姿勢 中間考査	AD CDE
	評論 (2) 詩	『「名づけ」の精神史』 『およぐひと』 『二十億光年の孤独』 詩の創作	・評論文の構造を理解したうえで、筆者の問題提起を把握する。 ・特徴的な技法や表現を学ぶ。また、詩を創作し、発表する。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	AD BC CDE
	評論 (3) 小説 (2)	『芸術を楽しむ』 『舞姫』	・文章を的確に読解し、自らの芸術に対する態度を考える。 ・心情や境遇と情景描写との呼応関係に着目し、象徴表現や暗示について理解する。	取り組む姿勢 中間考査	AD CDE
二学期	評論 (4) 短歌・俳句	『猫は後悔するか』 短歌・俳句	・哲学的な文章をとおして、現代社会に対する多様な視点を養う。 ・優れた作品の形式を学び、情景を読み味わう。	取り組む姿勢 発表 期末考査	AD B CDE
	三学期 評論 (6)	『私の個人主義』	・筆者の主張を的確に捉え、自らの意見と比較対照する。	取り組む姿勢 学年末考査	ABD CDE

学習評価 (成績評価は、次の5つの観点から行います) 考查点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 10点	話す・聞く能力 (B) 10点	書く能力 (C) 20点	読む能力 (D) 30点	知識・理解 (E) 30点
		国語で伝え合う力を、進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
評価方法	・授業における積極性 ・課題の取組状況	・俳句の発表 ・朗読 ・授業内での発問	・作文の提出 ・ノートの提出 ・定期考査	・意見文の集約作業 ・物語の結末についての創作活動 ・定期考査	・語彙に関するプリント教材 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇「読む・書く・話す・聞く」をしっかりと意識して授業に取り組みましょう。
- ◇自分と他人の読み取った内容や考えの違いを楽しんでください。一緒に授業を作りましょう。

【国語科】 古典B	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ（教育出版）			
	副教材	使用しません（随時プリント配付）			
履修学年	第3学年	履修形態	必修・選択	履修単位	3単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

<ul style="list-style-type: none"> ◇古典を読む能力を養う。 ◇古典についての理解や関心を深める。 ◇ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
--

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

<ul style="list-style-type: none"> ◇習熟度別で授業を行います。 ◇古典教材を踏まえて、自分自身が感じたり考えたりしたことを述べる機会が多くあります。積極的に言語による表現活動を行ってください。 ◇古語は現在も生きていることを日常生活から見だし、授業で展開していこうと考えます。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	随筆と日記 三国志の英雄たち	嘆きつつ 諸葛孔明	・平安時代の恋愛観を理解する。 ・漢文書き下し作成と内容把握をする。	取り組む姿勢 プリント 中間考査	A BC BC
	物語（一） 刺客荊軻	南院の競射 刺客荊軻	・古文の動作主についての考え方を学ぶ。 ・漢文書き下し作成と内容把握をする。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	A BC BC
二学期	物語（二） 不思議な話	光源氏の誕生 人面桃花	・娯楽としての古典文学を捉える。 ・物語の流れを理解し、情景を捉える。	取り組む姿勢 プリント 中間考査	A BC BC
	物語（二） 日本の漢詩文	若紫との出会い 信玄と謙信	・娯楽としての古典文学を捉える。 ・二人の人物関係と行動の意図を捉える。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	A BC BC
三学期	評論	文 一字の違い	・手紙のすばらしさを捉える。 ・一文字違うことによる、意味の変容を捉える。	取り組む姿勢 プリント 学年末考査	A BC BC

学習評価（成績評価は、次の3つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度(A) 20点	読む能力(B) 40点	知識・理解(C) 40点
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・取り組む姿勢 ・課題取組状況	・歴史的仮名遣いの把握 ・音読、漢文訓読など声に出す能力 ・内容把握、類推する力 ・定期考査	・古文単語語彙力や古典常識、漢字力の小テストなど ・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

<ul style="list-style-type: none"> ◇授業をきっかけにして、伝統的な言語文化に興味をもって生活することを心がけてください。 ◇教材をもとに、自分のものの見方や考え方を、広げたり深めたりしてください。
--

【地理歴史科】 地理 A	教科書	高校生の地理 A (帝国書院)			
	副教材	標準高等地図—地図でよむ現代社会— (帝国書院)			
履修学年	第 3 学年	履修形態	必修 選択	履修単位	2 単位

学習 (到達) 目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇世界の自然環境や文化、産業を学び、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を養う。
- ◇日本の自然環境の特徴を理解し、身近な地域の防災を考える。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇整理プリントを活用して授業を進めます。教科書にも写真などの資料はたくさん掲載されていますが、DVDや写真集などの視聴覚教材も活用して興味をもって授業に取り組めるようにします。
- ◇講義形式だけでなく、地図やグラフを描いたり、レポートを作成したりして理解を深めます。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	世界の自然環境と文化 世界の諸地域の生活・文化	世界の地形	・様々な地形の形成された過程と地形を生かした生活の様子を考察する。	授業態度	ABD
		人々の生活と気候	・世界の気候の特徴とそれに適した生活を考察する。	レポート作成 中間考査	C BD
		アジアの自然と産業	・アジア諸地域の地形や気候の特徴を理解し、自然環境や歴史が現在の人々の生活様式、産業、文化に与えている影響を考察する。	授業態度 ファイル提出 期末考査	ABD AC BD
二学期	世界の諸地域の生活・文化	ヨーロッパ・アメリカの自然と産業	・ヨーロッパ・アメリカ諸地域の地形や気候の特徴を理解し、自然環境や歴史が現在の人々の生活様式、産業、文化に与えている影響を考察する。	授業態度 レポート作成 中間考査	ABD C BD
		地球規模で広がる課題	・環境問題や人口問題など地球規模で拡大している課題の原因を追究し、その解決を「持続可能な社会」の実現の観点から考察する。	授業態度 ファイル提出 期末考査	ABD AC BD
三学期	身近な地域の課題	身近にある様々な地図	・GIS や GPS の仕組みを理解し、主題図を作成する。	授業態度 ファイル提出	ABD AC
		日本の自然環境と防災	・身近な地域の地形や自然環境を理解し、防災について考察する。	学年末考査	BD

学習評価 (成績評価は、次の 4 つの観点から行います) 考査点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10 点	思考・判断・表現 (B) 20 点	資料活用の技能 (C) 10 点	知識・理解 (D) 60 点
評価の観点	現代世界の地理的な諸課題に対する関心を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見つけ、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況 ・整理プリントの記入内容 ・ファイルの整理	・授業中の発言 ・定期考査における記述解答	・副教材の活用状況 ・レポートや報告書の作成 ・ワークシートへの記述	・理論的な口述返答 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇この授業では身近な地域の課題から世界の自然環境・生活・文化・産業にいたる幅広い内容を学習します。前向きな姿勢で授業に取り組み、グローバルな視点に立って物事を考えることができるようになります。

【公民科】 政治・経済	教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版（清水書院）			
	副教材	高等学校 新政治・経済 新訂版 ワークノート（清水書院）			
履修学年	第3学年	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。
- ◇現代の政治、経済、国際関係などの仕組みや動向について理解を深め政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇様々な課題について、一人の国民の立場からそれらが生じた背景や改善のあり方について考えていけるような授業を行います。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	現代の政治	日本の政治機構 現代日本の政治 国際政治と日本	・日本の政治機構の仕組みについて理解する。 ・日本の政党政治や選挙制の特徴と課題を考える。 ・国際紛争の諸要因について理解し、我が国の安全保障の在り方がどうあるべきかを考える。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 中間考査	AC A A BD
		民主政治の基本原理 日本国憲法と基本的人権 日本の平和主義と安全保障	・人権保障、国民主権、法の支配など民主政治の原理やその発展について理解する。 ・我が国の憲法の基本理念について考える。 ・平和と安全について、自らの考えをまとめる。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 期末考査	AC A A BD
二学期	現代の経済	現代経済の特質	・経済活動とは何か。経済主体の役割や相互の関連を理解する。市場経済の機能について理解する。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 中間考査	AC A A BD
		現代の日本経済 国際経済と日本	・財政の仕組みや租税の意義や役割、金融機関の働きなどについて理解し、それらの課題を考える。 ・国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解する。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 期末考査	AC A A BD
三学期	現代政治・経済の諸課題	現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	・現代の日本社会、国際社会に関してその課題を取り上げ、望ましい解決のあり方について考える。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 学年末考査	AC A A BD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 15 点	思考・判断・表現 (B) 10 点	資料活用の技能 (C) 15 点	知識・理解 (D) 60 点
評価の観点	現代の政治や経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとしている。	現代の政治や経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。	現代の政治や経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治や経済、国際関係にかかわる基本的な事柄や本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に対する積極性 ・ノート、ワークの整理 ・小テスト	・定期考査における記述解答	・授業プリントの記入内容 ・高校生議会への提起内容	・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇高校生生議会を通して、政治への興味・関心を高め、自分の生活に活かしてほしい。
- ◇積極的にニュースや新聞を読み、知識を深めることで社会の一員となっていく力を身に付けてほしい。

【保健体育科】 体育	教科書	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）			
	副教材	使用しません（随時プリントを配布）			
履修学年	第3学年	履修形態	必修 選択	履修単位	3単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇運動の合理的、計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高める。
- ◇自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇自己の興味、関心のある競技を選択し、より豊富な知識や高い技能を習得する。
- ◇基本的には男女共習で行う。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価計画	観点
一学期	体づくり運動 球技 武道 体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・ネット型、ゴール型、ベースボール型	・体力、運動の技能を高めるとともに、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養う。練習や作戦について話し合う活動を通してコミュニケーション能力を身に付ける。	ワークシート 実技テスト 授業観察 出席状況等	AB C ABCD A
		・剣道	・相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開できるようにする。		
二学期	体づくり運動 球技 陸上競技 武道 体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・跳躍、投てき、短距離走 ・ネット型、ゴール型、ベースボール型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養い、体力、運動の技能を高める。 ・能率的な集団行動をできるようにする。	ワークシート 実技テスト 授業観察 出席状況等	AB C ABCD A
		・剣道	・得意技を用いて簡単な試合をできるようにするとともに審判などの役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする。		
三学期	体づくり運動 球技 武道	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・体力、運動の技能を高めるとともに、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養う。	授業観察 出席状況等	ABCD A
		・剣道	・相手を尊重し、礼法や形といった伝統的な立ち居振る舞いを身に付ける。		

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います）

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断・表現 (B) 15点	運動の技能 (C) 50点	知識・理解 (D) 15点
	評価方法	授業に積極的、主体的に取り組む、仲間と協力し、自己の責任を果たそうとしている。 勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナー、チームワークを大切にしようとしている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ、主体的に授業を組み立てる（簡略的な指導案を立てる）ことができる。 自己や相手の健康や安全に留意した練習や攻防ができています。	作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できている。 剣道では状況に応じ基本的な動きができるようになり、崩し、しかけ、応じができ、礼法を習得している。
評価方法	・観察評価（授業中の態度・行動、積極性、出席・見学回数、忘れ物を含む） ・ワークシート	・観察評価 ・ワークシート	・実技テスト ・観察評価	・対話 ・観察評価

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇授業開始のチャイムが鳴るまでに更衣を済ませ、集合してください。
- ◇見学等の連絡がある者は事前に担当の先生に相談し、指示を受けてください。

【外国語科】 コミュニケーション英語Ⅲ	教科書	All Aboard! Communication English Ⅲ (東京書籍)			
	副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜利用)			
履修学年	第3学年	履修形態	必修・選択	履修単位	4単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇ 日常的な話題について、英語で聞いたり話したりできるようになる。
- ◇ 情報や考えなどを英語で伝える能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになる。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇ テストの結果等により、「A, B, C」の習熟度別で授業を行います。共通の教科書は使用しますが、それぞれの到達度により授業の内容も異なり、あらゆる進路に対応した授業を行います。
- ◇ 教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。
- ◇ 英語による指示や質問を聞き、英語で応答できるように工夫します。

学習計画 (考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	Lesson 1	Bring Me Good Luck!	<ul style="list-style-type: none"> 過去完了形が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 手紙文から必要な情報を読み取る。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A ABC AD D
	Lesson 2	You Are What You Eat	<ul style="list-style-type: none"> 未来進行形が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 英語の電話表現を理解し、使用する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A ABC AD D
二学期	Lesson 3	The Power of Music	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法過去が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 自分自身のことを英語で紹介する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A ABC AD D
	Lesson 4	The Natural Treasures of Ogasawara	<ul style="list-style-type: none"> 否定表現が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 英語でパンフレットを作成する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A ABC AD D
三学期	Lesson 5	A Door to the Past	<ul style="list-style-type: none"> 無生物主語が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 接頭語や接尾語から未知語の意味を推測する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 学年末考査	A ABC AD D

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考査点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (A) 20 点	外国語表現の能力 (B) 5 点	外国語理解の能力 (C) 5 点	言語や文化についての知識・理解 (D) 70 点
	評価の方法	積極的に授業に取り組み、失敗を恐れずに、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 授業中に与えられた課題や小テストに前向きに取り組もうとしている。	日常生活や自分の考えを、英語で書いたり、話したりできる。 ALT とのチームティーチングにおいて、自分の考えなどを英語で書いたり、話したりしている。	英語を聞いたり、英語で書かれたものを読んだりして、理解できる。 ALT とのチームティーチングにおいて、意欲的に理解しようとしている。
評価の方法	・出席点 ・小テスト ・関心、意欲、態度点	・パフォーマンステスト等	・パフォーマンステスト等	・提出課題 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇ 毎日の予習・復習を必ず行ってください。英語は学習の積み重ねが大切です。
- ◇ ALT の先生も一緒にチームティーチングをしていただきます。積極的に参加してください。

【国語科】 総合国語演習	教材	『ほんものの力がつく現代語練習帳ことのは』（いいずな書店）			
	副教材	新聞、辞書など 随時プリント配布			
履修学年	第3学年(ふる)	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇「国語表現」の内容を基に発展的に学習し、国語全般の知識・理解の定着を図る。
- ◇さまざまな文章を読み、自分の考えをまとめ表現する力を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫など）

- ◇授業では、評論などの文章を読んでいきます。普段から新聞や本などを読み、文章に触れる機会を作りましょう。
- ◇さまざまな文章を読む中で、自らの意見を持ち積極的に発言し、文章に表現してください。また他人の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比較し理解を深めてください。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	スピーチをする(1) 意見文を書く(1) 小論文を書く(1) 社説を読み比べる レポートを書く(1)	・相手の理解が得られるように表現を工夫する。 ・段落構成を工夫して意見文を書く。 ・問いと答えを明確にして小論文を書く。	・表現や構成を工夫し、相手に分かりやすいスピーチを行う。 ・効果的な文章の構成を理解し、意見文を書く。 ・他者の意見を引用しながら、自分の考えを述べる小論文を作成する。	取り組み姿勢 プレゼンシート ワークシート 小テスト 期末考査	A B CD DE CDE
二学期	語感を磨く 意見文を書く(2) レポートを書く(2) スピーチをする(2) 創作活動	・自分の意見をプレゼンテーションする。 ・複数の辞書を使い、言葉の意味を深く理解する。 ・様々な資料を読み取り、意見文を書く。 ・詩や俳句、短歌を創作する。	・自分の意見を伝えることのできるプレゼンテーションを行う。 ・複数の辞書を使い、意味が似ている言葉の使い分けを検討する。 ・一つのニュースに対する様々な記事を批判的に読み、自分の意見をまとめる。 ・さまざまな作品を味わい、自分の作品を創作する。	取り組み姿勢 プレゼンシート ワークシート 小テスト 期末考査	A B CD DE CDE
三学期	近況報告する手紙を書く 高校生活3年間に ついてスピーチする。	・目的・意図に応じて文章を整えたり、読み手からの助言を踏まえて自分の文章の課題を捉え直したりする。	・近況を伝える通知文(手紙)を書き、読み手からの助言を踏まえ推敲する。 ・表現や構成を工夫し、相手に分かりやすいスピーチを行う。	取り組み姿勢 ワークシート プレゼンシート 小テスト 学年末考査	A CD B DE CDE

学習評価（成績評価は、次の5つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度(A)10点	話す・聞く能力(B)10点	書く能力(C)35点	読む能力(D)15点	知識・理解(E)30点
		国語で伝え合う力や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重しその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞きとったり、話し合ったりし、考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢	・授業に取り組む姿勢 ・プレゼンテーションシート ・発表	・ワークシート ・レポート提出 ・定期考査	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇様々な文章に触れ、自らの考えを文章にすることで、考える力を身に付けてください。
- ◇自分の読みや考えを大切にしてください。一緒に授業を作りましょう。

【数学科】 数学B	教科書	改訂版 最新 数学B (数研出版)			
	副教材	新課程書き込み式シリーズ Study-Up ノート 数学B (数研出版)			
履修学年	第3学年 (ふる)	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習 (到達) 目標 (授業を通して、身に付ける力)

◇平面ベクトル、空間ベクトル、数列について理解し、その知識・技能の習熟を図る。
◇事象を数学的に考える力を身に付けるとともに、数学の良さがわかる。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

◇教科書・授業プリント・Study-Up ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。
ただし数学的な知識や技能の定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	平面上のベクトル	ベクトルの演算 位置ベクトル	・ベクトルの概念を理解し、ベクトルの基本的な演算をする。座標平面上でのベクトルの扱いについて理解する。	課題 出席状況、提出物 中間考査	D AC BCD
		ベクトルと図形 ベクトル方程式	・ベクトルの考え方をを用いて、図形の問題を解く。直線や円などのベクトルでの表記法を理解する。	課題学習 出席状況、提出物 期末考査	B AC BCD
二学期	空間上のベクトル	ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルと図形	・空間上におけるベクトルの概念を理解し、基本的な演算をする。空間図形にベクトルを応用させる。	課題 出席状況、提出物 中間考査	D AC BCD
	数列	等差数列、等比数列	・数列の基本的な概念を理解し、特に等差数列、等比数列の一般項や和を求める。	課題学習 出席状況、提出物 期末考査	B AC BCD
三学期	数列	いろいろな数列 漸化式と数列 数学的帰納法	・様々な数列に対して、一般項を求める。 ・漸化式の基本的な概念を理解し、数列との関連がわかる。 ・数学的帰納法の証明法を理解し、正しく証明する。	課題 課題学習 出席状況、提出物 学年末考査	D B AC BCD

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考査点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 10 点	数学的な見方や考え方 (B) 30 点	数学的な技能 (C) 30 点	知識・理解 (D) 30 点
		平面上のベクトル、空間上のベクトルおよび数列の考え方に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上のベクトル、空間上のベクトルおよび数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
評価方法	・出席状況等 ・授業中の姿勢・態度	・課題学習での取組 ・定期考査	・ノート・ワーク等の提出物 ・定期考査	・課題 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【数学科】		教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ (数研出版)		
数学Ⅱ		副教材	書き込み式シリーズ Study-Up ノート数学Ⅱ (数研出版)		
履修学年	第3学年(進路)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分について、「数学Ⅰ」より発展した内容について知識を深め、その技能を習得する。
- ◇知識・技能を活用する能力を伸ばすとともに、数学の良さがわかる。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書・授業プリント・Study-Up ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。ただし、数学的な知識や技能の定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	微分法と積分法	微分法	・導関数の意味を知り、関数の増減、極大極小、最大最小を求める。	課題 出席状況、提出物 中間審査	D AC BCD
		積分法	・不定積分や定積分を理解する。また、定積分を用いて面積を求める。	課題学習 出席状況、提出物 期末審査	B AC BCD
二学期	いろいろな関数①	三角関数	・弧度法と度数法、三角関数の基本的性質を理解する。	課題 出席状況、提出物 中間審査	D AC BCD
		三角関数	・三角関数のグラフや特徴、加法定理の意味と使い方、2倍角や半角の公式を理解する。	課題学習 出席状況、提出物 期末審査	B AC BCD
三学期	いろいろな関数②	指数関数・対数関数	・有理数に拡張した指数法則について理解する。また、対数の考え方やグラフ、常用対数について理解する。	課題 課題学習 出席状況、提出物 学年末審査	D B AC BCD

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考查点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10 点	数学的な見方や考え方 (B) 30 点	数学的な技能 (C) 30 点	知識・理解 (D) 30 点
評価の観点	様々な式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し、表現している。また思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通し、数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況等 ・授業中の姿勢・態度	・課題学習での取組 ・定期審査	・ノート、ワーク等の提出物 ・定期審査	・課題 ・定期審査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【外国語科】 英語表現Ⅱ	教科書	Vivid English ExpressionⅡ New Edition (第一学習社)			
	副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜使用)			
履修学年	第3学年(進路)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇英語独特な構文を理解し、表現できるようになる。
- ◇情報や考えなどを英語で伝える能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図る。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業中の指示もできるだけ英語で行います。何度も出てくる同じ表現を自然に身に付けることができます。学んだことを積極的に使ってみてください。
- ◇教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	Lesson 15, 16	Thinking More about the Earth History Is Interesting	・比較級の表現を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A B AC C
	Lesson 17, 18	Making the World a Better Place Family Camping	・接続詞や関係代名詞を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A B AC C
二学期	Lesson 19, 20, 21	Hospital Robots My Future Career Our Network Society	・関係代名詞を復習し、それぞれの発展的な用法を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A B AC C
	Lesson 22, 23	It's Hard to Choose. We Were So Lucky!	・強調構文や名詞構文を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A B AC C
三学期	Lesson 24, 25	I'm Sorry to Hear That. They Like Hot Springs.	・謝罪や希望、願望表現を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 学年末考査	A B AC C

学習評価 (成績評価は、次の3つの観点から行います) 考査点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度(A) 20点	外国語表現の能力(B) 10点	言語や文化についての 知識・理解(C) 70点
評価の観点	積極的に授業に取り組み、失敗を恐れずに、身の回りのことや自分のことについて英語で伝えようとしている。 授業中に与えられた課題や小テストに前向きに取り組もうとしている。	日常における、自分に関することについて、英語で書いたり、話したりできている。 ALTとのチームティーチングにおいて、自分の考えなどを英語で書き、話している。	言語や文法の知識を理解できている。 英語を理解するのに必要な語彙を身に付けている。
評価方法	・出席点 ・授業に対する参加姿勢、積極性 ・小テスト	・パフォーマンステスト	・提出課題 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇毎日の予習を必ず行ってください。英語は復習よりも予習が重要です。
- ◇外国語はパターン学習が効果的です。すぐに様々な表現ができるようになります。